



四小だより

いちょう

令和3年3月5日号 No.47

山形市立第四小学校

校長 日高 伸哉

<児童数 205名>

〒990-0055

山形市相生町4番37号

TEL 623-6019

FAX 633-9321

感動！「6年生感謝の会」3／2（火） ～まさに、いちょうの子「児童会・心と心の卒業式」！ …スクールサミットでの思いと願いが実現～

今日は、二十四節気の「啓蟄」^{けいちつ}。「冬ごもりしていた虫たちも、春を感じ動き始める」そんな頃とされています。校庭の木々も若芽が膨らみ始めています。大いちょうも、少しずつ芽吹き、春の訪れを感じさせてくれています。春は、別れと出会いの季節です。

18日の「卒業証書授与式」を前に、2日（火）「6年生感謝の会」が行われました。全校生による「児童会・心と心の卒業式」と呼びたい、そういう感動の「感謝の会」になりました。

卒業証書授与式の本質は、読んで字の如く「卒業証書を授与すること」です。学校教育法施行規則58条に、「小学校の全課程を修了したと認めた者には、卒業証書を授与しなければならない」という規定があります。同様の文言が、中学校、高校、大学と、いずれの学校段階にも定められています。これは、制度（大人側からの仕組み）としての見方です。一方で、子どもの側に立ったとき、卒業式は「卒業生と在校生の心の交流の完結の場」としての機能も持ち合わせてきました。コロナ禍において「新しい生活様式」を取り入れ、三密を回避することが日常となる今、でき得る最大限の工夫と取組が求められています。そういう意味では、この度の「感謝の会（児童会・心と心の卒業式）」は、スクールサミットを通して、いちょうの子ども達が深く考えたこと・思ったこと、そして願ったことが具現化されたものです。

コロナ禍において、卒業式への在校生の出席が叶わないと分かったとき、できるだけ、卒業式に近い日取りで「感謝の会」が催せるよう、2月下旬の予定を3月上旬に組み替えました。そういう「本気」の気構えが、一人ひとりの「本気」につながり、感動を呼んだに違いありません。その一端を、各学年の「おたより」の中に見つけました。裏面に、掲載します。



山形市立第四小学校
第6学年だより
No.60
令和3年3月3日

みんな四小の仲間

昨日、6年生感謝の会がありました。あたたかい雰囲気の中、いい時間が流れ、いい思い出になりました。



1年生が教室
来てくれて、
ました。「
教えては
す!」の
班の1
介して
みんな
言
だ
あおず
式で歌う
曲を歌いま
合唱でし
ありがど

山形市立第四小学校 No.192
第1学年だより
令和3年3月5日(金)
担任 佐藤支保

佐藤支保

6年生のすがたからまなぶこと

山形市立第1中学校
令和3年3月5日
担任 佐藤支保

6年生懇話会の始めの言葉。児童代表の（5年生）を聞いているときの6年生の話をしている人を見て聞いているの、一番通の人であっても話をしてくるに比べて向けて聞いていること。写真を見ただけで、どこまでのかかることを聞いていること。6年生の言葉を聞いています。

まなび



にじいろ

山形市立第四小学
第2学年おたより
NO. 59
令和3年 3月 4日 (木)

令和3年 3月 4日

から在校生、

にじいろ
在校生から6年生へ
互いの感謝の思いが会場を包みました
～ 6年生 感謝の会 ～
2日(火)、5年生が企画、運営した「6年生 感謝の会」が行われました。今年度も、卒業式には在校生が参加するため、5年生



学年おたよりから抜粋